



2011

キャンパス・コンソーシアム函館  
合同公開講座

## 函館学 2011

### 第1回講座 講義資料

#### 聖ニコライ来函150周年

— 幕末・箱館にもたらされたもの —

**山崎 瞳** 函館ハリストス正教会

日時：平成23年6月11日（土）午後2:00～3:30

会場：ホテル法華クラブ函館

主催：キャンパス・コンソーシアム函館

## 講師略歴

やまざき ひとみ

**山崎 瞳 氏** 函館ハリストス正教会

長野県生まれ。

上智大学外国語学部ロシア語学科卒。

ロシア正教会レニングラード神学校（現、サンクトペテルブルク神学校）聖歌指揮科卒。

ロシア語通訳協会会員。

ニコライ・ドミートリエフ神父と結婚の後、東京、神戸の正教会にて奉職。

2008年函館ハリストス正教会に赴任。

キャンパス・コンソーシアム函館  
合同公開講座函館学2011

6月11日(土)午後2:00～3:30  
会場:ホテル法華クラブ函館

「聖ニコライ来函150周年」  
— 幕末・箱館にもたらされたもの —

はじめに

I 聖ニコライ来函に至る経緯

- 1 ロシア正教会
- 2 箱館開港とロシア領事館開設
- 3 初代領事ゴシュケヴィッチ
- 4 実行寺の祭祠堂から上大工町の聖堂へ

II 聖ニコライ来函

- 1 来函当時の聖ニコライの立場
- 2 聖ニコライの函館時代
- 3 日本宣教団の設立
- 4 函館から東京へ

III 聖ニコライという人

- 1 『宣教師ニコライの全日記』及びその他の文献より
- 2 新約聖書の日本正教会訳
- 3 ロシア正教会における「聖人」について

IV 現在の日本ハリストス正教会

- 1 世界の中の日本ハリストス正教会
- 2 日本の中の日本ハリストス正教会
- 3 函館ハリストス正教会

～聖堂の歴史と現在の教会の活動～

おわりに

## 【参考資料1】世界の正教会

### 完全独立教会 [ ( )内は、教会規則上の管轄地域 ]

- ◎コンスタンチノープル正教会(トルコ及びギリシャの一部)
- ◎アレクサンドリヤ正教会(北アフリカ、中央アフリカ、南アフリカ)
- ◎アンテオケヤ正教会(シリア、レバノン、イラク、クウェート)
- ◎イエルサリム正教会(イスラエル、ヨルダン、パレスチナ、シナイ)
- ◎ロシア正教会(ロシア連邦共和国)
- ◎グルジア正教会(グルジア)
- ◎セルビア正教会(ユーゴスラビヤ)
- ◎ルーマニア正教会(ルーマニア)
- ◎ブルガリヤ正教会(ブルガリヤ)
- ◎キプロス正教会(キプロス)
- ◎エラーダ正教会(ギリシャ)
- ◎アルバニア正教会(アルバニア)
- ◎ポーランド正教会(ポーランド)
- ◎チェコ及びスロバキヤ正教会(チェコ及びスロバキヤ)
- ◎アメリカ正教会(アメリカ合衆国)

### 自治独立教会

- ◎シナイ大主教区(シナイ山の聖大致命女エカチェリーナ修道院を含むシナイ大主教区は、イエルサリム教会を母教会とする自治教会)
- ◎フィンランド正教会(フィンランド正教会は、コンスタンチノープル正教会を母教会とする自治教会)
- ◎日本正教会(日本正教会はロシア正教会を母教会とする自治教会)

【参考資料2】 ロシア・日本正教会関係略年表(聖ニコライ迄)

西 暦	で き ご と
988	ルーシの洗礼(キエフ大公ウラジーミルがコンスタンチノーブルより東方キリスト教会(正教会)をルーシの国教としてもたらす)
997	コンスタンチノーブル総主教庁の教区として、キエフ府主教区が確立
1050	キエフ・ピチュールスキー修道院礎石
1113	キエフ・ピチュールスキー修道院において『原初年代記』の編纂完了
1337	聖三位一体セルギー修道院礎石
1339-1340	モスクワに木造のクレムリンが建設される
1367	モスクワに白亜の石造クレムリンが建設される
1448	府主教イオナ、キエフ及び全ロシアの府主教となる(コンスタンチノーブル正教会からの、ロシア正教会の実質的独立)
1555-1561	モスクワの「赤の広場」で、聖ワシリイ寺院(正確には生神女就寝聖堂)建設
1582	シベリアでの布教のために10名の司祭が派遣される
1589	モスクワの府主教イオフ、最初の総主教となる
1613-1917	ロマノフ王朝
1652-1658	モスクワ及び全ロシアの総主教ニーコン
1653	総主教ニーコンによる宗教改革始まる
1700	新年を1月1日とする
1703	サンクトペテルブルクの建設
1721	聖シノド(宗務院)の設立
1823	主教インノケンティ、布教のためにアラスカへ赴く
1855	日露和親条約の締結(ロシア船の下田、箱館、長崎への寄港が認められる)
1894-1917	ニコライⅡ世(最後のロシア皇帝)
1860	上大工町(現在の元町)に領事館及び付属聖堂の建設
1861. 07. 14	修道司祭ニコライ・カサートキン(聖ニコライ)、在箱館ロシア領事館付属聖堂の管轄司祭として着任
1868	日本における最初の日本人正教信徒の洗礼(箱館)
1872	掌院ニコライ(聖ニコライ)、宣教団の中心を東京へ移す
1891	主教ニコライ(聖ニコライ)、東京神田に東京復活大聖堂を建設
1904-1905	日露戦争
1912	大主教ニコライ(聖ニコライ)、東京にて永眠
1970	ロシア正教会、大主教ニコライを聖人に列聖(「使徒日本の大主教聖ニコライ」。日本正教会が自治独立教会となる。

### 【参考資料3】 函館ハリストス正教会略年表

西 暦	で き ご と
1858	初代ロシア領事ゴシュケヴィッチ一行来航
1859	実行寺境内に正教会の祭祠堂が建てられる
1860	上大工町(現正教会地)にロシア領事館及び聖堂竣工
1860. 07. 14	修道司祭ニコライ・カサートキン(聖ニコライ)、在箱館ロシア領事館附属聖堂の管轄司祭として着任。
1868	パウエル澤邊琢磨、イオアン酒井篤礼、イアコフ浦野大蔵、修道司祭ニコライ(聖ニコライ)より受洗(日本における最初の日本人信徒の洗礼)。
1870	日本宣教団設立。掌院ニコライ(聖ニコライ)が宣教団団長となる。
1872	掌院ニコライ(聖ニコライ)、宣教団の本部を東京に移す。後任は修道司祭アナトリイ。
1874	伝教学校を増築し、小学部を正教小学校と称す
1875	日本で初めての正教会の神品機密が函館にて行われる
1882	テイト小松韜蔵神父(函館における最初の日本人管轄司祭)着任
1884	裁縫女学校(「元町露西亜女学校」)設置
1904	日露戦争勃発。要塞地帯法により目時神父等、有川教会に移る
1907	函館大火(明治40年)により、領事館及び聖堂焼失
1912	モイセイ白岩徳太郎神父着任
1916	二代目の聖堂、再建。成聖式が行なわれる。
1923	聖堂の鐘を東京復活大聖堂に譲り、代わりに大小6個の鐘を譲り受ける
1942	聖堂の鐘、軍に供出
1961	イオアン厨川神父着任
1983	聖堂が国の重要文化財の指定を受ける
1995	イオフ馬場登神父着任
1996	環境庁より聖堂の鐘の音が「日本の音風景百選」に認定される
2000	モスクワ及び全ロシアの総主教アレクシイⅡ 聖下来函
2002	東日本主教教区主催「聖ニコライ祭」が開催される
2008	ニコライ・ドミートリエフ神父着任して現在に至る

(※管轄司祭は、長期に渡って常駐した神父のみ記載)

#### 函館ハリストス正教会

〒040-0054 函館市元町3-13

TEL(0138)23-7387/FAX(0138)23-7939

URL <http://orthodox-hakodate.jp>